

切除可能な悪性胸膜中皮腫患者における手術によるベネフィットが最大となる患者選択方法の後方視的検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	切除可能な悪性胸膜中皮腫患者における手術によるベネフィットが最大となる患者選択方法の後方視的検討
倫理審査 受付番号	第3776号
研究期間	2021年 5月倫理審査承認日～2022年 4月30日
研究対象情報 の取得期間	下記の期間に当院 呼吸器外科を受診された悪性胸膜中皮腫の方 2012年 7月 1日～2019年12月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的・意義)

切除可能な悪性胸膜中皮腫に対して、集学的治療（手術、化学療法、放射線療法）が行われます。当院では、術前化学療法3コースの後に外科切除を施行しています。手術の目的は肉眼的完全切除です。手術は肺を温存する胸膜切除/肺剥皮術を第1選択としています。兵庫医科大学の治療プロトコールにてこれまで多くの治療を行ってきました。本研究で治療選択と予後の関係を明らかにすることで、今後の治療に与える意義は大きいと考えています。

（研究の方法）

当院で2012年7月1日から2019年12月31日までに悪性胸膜中皮腫の確定診断を得た切除可能と判断され、かつ、集学的治療を企図した患者さんを対象とします。治療開始前から手術を希望しない場合や集学的治療の適応ができない場合は除外しました。各段階の治療選択において、手術施行群、未施行群の二群に分けて統計学的手法を用いて解析します。収集する臨床情報は、性別、年齢、生活歴などの基本情報、診断・治療の方法と結果、合併症、予後などです。

（個人情報の取扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 呼吸器外科
長谷川 誠紀（研究責任者）

TEL | （平日 9：00～17：00） 0798-45-6885
（上記時間以外） 0798-45-6111